

令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

【質 問 者】 3番 兵庫県立有馬高等学校 2年 三谷 芽衣(みたに めい)

【担 当 課】 危機管理課

【答弁予定者】 危機管理監

【質 問 事 項】 三田市の防災意識向上について

【質 問 内 容】

3番 高校生議員 兵庫県立有馬高等学校 2年の三谷 芽衣です。私は三田市の防災意識の向上を目指し、三田市に住む人が安心して過ごせる場所にしたいと考えています。

私は去年の夏休みに、福島県の太平洋側に位置する浜通りを中心に防災や地震、津波の勉強をしてきました。その中で一番印象に残っているのは、地元の高校生に話を聞いたことです。私と同学年なのに地震や津波についての知識があり、福島の高校生は月に1回避難訓練を行っていると聞きました。避難訓練に慣れるだけでなく、地震や津波が来た時のシミュレーションまで行っていることに衝撃を受けました。兵庫県では阪神淡路大震災があったのにも関わらず、福島県と防災意識の差があると思いました。三田市は阪神淡路大震災の影響はあまり受けなかったと聞きましたが、大丈夫という思い込みが命に関わることを学んだので、今回考えることにしました。

今の三田市は、防災意識が低いと思います。例えば避難訓練をしていない地

区もあつたり、また地域の防災備蓄の使い方が分からなかつたりなどがあります。避難訓練の大切さがいろいろな人に伝われば良いなと思ひました。

そこで私は月に 1 回防災デーを設けることを提案します。防災デーでは自分が住んでいる地区の防災備蓄の使い方を知る、防災関連のゲームをする、防災関連の映画を見る、地域住民で避難訓練をする、避難訓練が終わればお菓子を食べながら話す交流会をするなどを考えています。

この提案が実現できれば、三田市の防災意識が向上し、地域コミュニティの和が広がります。また誰もが安心して暮らせる町になります。私は福島県で学んだことを伝えていく活動をしたいです。

以上のことについて、市の考えをお聞かせください。

【答弁内容】

私からは三谷議員ご質問の「三田市の防災意識の向上について」お答えします。

三田市の防災への取組みとしましては、地域の自主防災組織が中心となり避難訓練や避難所運営訓練等を実施していただひており、その他にも地域版防災マップを作成し、地域の危険箇所等の確認にも取組んでいただひております。また、市行政としては、これらの地域の取組みを支援するとともに、総合防災訓練や市職員対象の避難所運営訓練等、災害に対応できる体制づくりをしてひます。

議員、ご提案の防災デーの設置につきましては、近隣では丹波市が今から 10

年前の「丹波市豪雨災害」の教訓を継承するために定められており、日常的な防災への意識づけとして、地域の大規模災害を契機として制定している事例が多くあります。

幸いなことに三田市では、近年、大規模災害の発生は無く、また、地理的に津波被害の心配もありません。このため、防災デーを毎月設けることについては、市民の防災意識の向上よりも、防災デー実施に係る負担感が大きくなってしまい、実現にはハードルが高いと感じます。

一方で、議員ご提案の、防災関連のゲームや映画、お菓子を食べながらの交流会などは、防災の行事に楽しさが付加され、参加しやすい行事になると思われますので、自主防災組織等に紹介してまいります。

加えて、議員の「福島で学んだことを伝える活動をしたい」という思いは、大変すばらしいものであり、市としましても議員の思いが実現できるように、是非協力させていただきたいと思えます。

議員のように若い方が防災について興味を持ち、防災の普及啓発に取り組んでいただくことは、市職員が実施するよりも地域の皆さまの心に響く活動になると思えます。今後の調整となりますが、危機管理部にて地域の自主防災組織等に働きかけることにより、地域の防災訓練等の場で議員にお話いただくことは実現できると考えておりますので、後ほどご相談させていただければと思えます。

今回のご提案の主旨を踏まえ、災害時に迅速に対応できる防災体制の構築

と、合わせて平常時から様々な方法による啓発活動にも引き続き努めてまいりますので、議員のご理解を賜りますようお願いいたします。